来世の通貨

この世の富を永遠の報いに替える



HJ CHE ALIM HJ CHE HARON
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です ― 販売はできません。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

来世の通貨

この世の富を永遠の報いに替える

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ ٱتَّقُواْ ٱللَّهَ وَلۡتَنظُرۡ نَفۡسٞ مَّا قَدَّمَتۡ لِغَدٖۖ وَٱتَّقُواْ ٱللَّهَۚ إِنَّ ٱللَّهَ خَبِيرُۢ بِمَا تَعۡمَلُونَ

「あなたがた信仰する者よ、アッラーを畏れなさい。明日のために何をしたか、それぞれ考えなさい。そしてアッラーを畏れなさい。本当にアッラーは、あなたがたの行うことに通暁なされる。」

集合章 59:18

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON
AK (KELANTAN)

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売はできません。

謝辞

すべての称賛は、御心に適う者の報いを何倍にもされ、先に送ったあらゆる善行を御許で見い出すと約束された御方アッラーに。吹く風よりも気前の良い御手をもっておられたアッラーの使徒 ﷺ と、そのご家族、教友たちの上に、祝福と平安あれ。

この電子書籍を、愛する妻

ZAHARAH MOHD LATIF、

愛する子どもたち

MUHAMMAD HAFIZ, NOOR HAZWANI, ABDUL HAKIM, NOOR HIDAYAH, NOR AQILA と **NOR ATIQAH**、

そして義理の息子・娘たち

FAZILAH, MALEK, HANIN, FAIRIZAL と **FIRWAN** に捧げます。

アッラーが、私たちが現世の富を永遠の報いに替えることを容易にし、私たちのすべての施しを受け入れ、この知識をイルムン・ユンタファウ・ビヒ、すなわち役に立つ知識としてくださいますように。

表紙について

本書の表紙は、夕暮れ時の**高級車の車内**を写実的に描いた一枚である。天井と座席は**クリーム色の革**張りで、艶やかな木目の装飾が添えられている。それは、心地よく味わわれる現世の**富と安らぎ**の象徴である。舞台は**日本の田園**であり、本書のメッセージが、どの国、どの言葉のムスリムにも向けられていることを思い起こさせる。

画面の左側、右ハンドルの運転席には、**白い編みのクーフィー（礼拝帽）**をかぶり、白いシャツに濃い色のベストを着た**日本人ムスリムの運転手**が座り、両手でハンドルを握っている。その穏やかな顔は、左上の**ルームミラー**にも映っている。まさに彼が丁寧にこう尋ねる瞬間である。「**社長、アメリカや海外へ行かれるときは、私たちのお金をその国の通貨に両替しなければなりませんよね？**」 質素な一人の男が、何よりも価値ある問いを運んでいる。

画面の右側、後部座席には、チャコールグレーのスーツを着た**日本人の実業家である社長**がゆったりと腰かけている。その手には**えんじ色のパスポートと数枚の紙幣**がある。それは**両替**の道具であり、海外へ飛ぶ前にお金を替えることに慣れている人であることを示している。彼は、今しがた耳にした問いを思いめぐらすかのように、物思いに沈んだ表情で前を見つめている（第 1 章）。

左の窓の外には、**昔ながらの日本の農家**と**田んぼ**が広がっている。右の窓の向こうには、田んぼと山なみの先、夕日に染まる空の下に、**白いドームとミナレットをもつモスク**が立っている。モスクは**来世という目的地**を、夕暮れは**終わりへと近づく人生の一日**を象徴している。旅が終わる前に、現世の富を報いに替える時なのである（第 6 章）。下部の**金色の線**の入った**濃紺の帯**は、著者の名が置かれる土台である。

目次

来世の通貨 — 集合章 59:18、運転手と社長の物語

1. 運転手と社長の物語 — 騙し合い章 64:16、夜章 92:5〜7、『サヒーフ・ブハーリー』1429

2. 驚くべき交換レート — 雌牛章 2:261、265、245、鉄章 57:11、創造者章 35:29〜30、『サヒーフ・ブハーリー』6491

3. 本当の財産とは先に送ったもの — 集合章 59:18、衣を纏う者章 73:20、『サヒーフ・ムスリム』2959

4. 両替の窓口 — 『サヒーフ・ブハーリー』1417、1461、56、1426、5304、人間章 76:8〜9

5. 来世の偽札 — 雌牛章 2:264、262、『サヒーフ・ムスリム』1015、『サヒーフ・ブハーリー』660

6. 空港が閉まる前に替えよ — 偽信者たち章 63:10〜11、『サヒーフ・ブハーリー』1419、2742

よくある質問 — 雌牛章 2:271、サバア章 34:39

結び — 毎日の来世への投資 — まとめの表、毎日のチェックリスト

参考文献

支援と寄付

色の案内：緑の枠＝クルアーンの節、金色の枠＝ハディース、青い枠＝科学的知見、灰色の枠＝省察または引用。青い下線付きの伝承者名をクリックすると、sunnah.com のその伝承者のページが開きます。

来世の通貨

賢い旅人なら、外国へ飛び立つ前に一つの基本を心得ている。**財布の中のお金は、向こうでそのまま使えるとは限らない**ということである。日本円はロンドンのカフェでは使えない。まずポンドに替えなければならない。日本円ではニューヨークのタクシー代も払えない。ドルに替えなければならない。両替を忘れた旅人は、分厚い財布を持って空港に降り立ちながら、水一杯さえ買うことができない。

クルアーンとスンナは、すべての人間がどんな国際線よりもはるかに長い旅の途上にあると教えている。その行き先は**来世**であり、そこでは円もドルも黄金も株も、もう通用しない。受け取られる通貨はただ一つ、**報い**（サワーブ、ハサナート）である。アッラーはこう言われる。

集合章 59:18

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ ٱتَّقُواْ ٱللَّهَ وَلۡتَنظُرۡ نَفۡسٞ مَّا قَدَّمَتۡ لِغَدٖۖ وَٱتَّقُواْ ٱللَّهَۚ إِنَّ ٱللَّهَ خَبِيرُۢ بِمَا تَعۡمَلُونَ ١٨

あなたがた信仰する者よ、アッラーを畏れなさい。明日のために何をしたか、それぞれ考えなさい。そしてアッラーを畏れなさい。本当にアッラーは、あなたがたの行うことに通暁なされる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/59:18

この節には、とても個人的な問いが含まれている。「**明日のために何をしたか、それぞれ考えなさい。**」 アッラーは来世を**ガド**、すなわち**明日**と呼ばれる。まるで明朝のように近いものとして。イブン・カスィールは、この節が、清算される前に自らを清算し、主のもとへ帰る日のためにどのような善行を蓄えたかを見つめるよう、一人ひとりに命じていると説明している。タフスィール・イブン・カスィール 59:18

本書は、短いけれども心を打つ一つの物語から始まる。高級車の中での、運転手と社長との会話である。その物語から、私たちは六つの問いをたどっていく。**来世の**

通貨とは何か、その交換レートはいくらか、本当に自分のものである財産はどれか、両替の窓口はどこにあるか、来世で**偽札はどのように退けられるか**、そして**なぜ今、空港が閉まる前に替えなければならないのか**。

本書は、「ムティアラ・ヒクマ（叡智の真珠）」シリーズの先の二冊に自然に続くものである。『**手の中の黄金、魂の試練**』は富を**試練**として論じた。本書は、その試練を**報い**に**替える**方法を論じる。『**マフシャルの野で消えた持ち株**』は、不正によって報いが**失われる**ことを論じた。本書は、報いがどのように**集められ、何倍にも増やされる**かを論じる。『手の中の黄金、魂の試練』を読む

注：本書のすべてのハディースには、sunnah.com の伝承者のページにリンクされた伝承経路（イスナード）を付し、その真正度を誠実に記している。科学的知見は調和の証として示すものであり、クルアーンを「証明」するためのものではない。本書はファトワーではない。ザカート、ワクフ、遺言など個別の法的な問題については、ムフティーや信頼できる学者に尋ねてほしい。

1. 運転手と社長の物語

その日の午後、一台の高級車が高速道路をゆっくりと進んでいた。後部座席では、社長が柔らかな革のクッションにもたれていた。手の中の電話は鳴りやまなかったが、口のほうが電話よりも忙しかった。道中ずっと、彼は自分の富について語り続けた。大きくなっていく会社のこと、買ったばかりの土地のこと、値上がりする株のこと。そして海外への出張のこと。先週はロンドン、来月はアメリカ、年末にはヨーロッパ。

前の座席では、運転手が辛抱強く耳を傾けていた。白いシャツに白い帽子をかぶった質素な男で、毎日社長を会議へ、空港へ、華やかな会合へと送り届けていた。彼はロンドンへ行ったことがない。ビジネスクラスに乗ったこともない。けれども、夜明けの礼拝のあと、町のモスクに長く座って、来世についての講話に耳を傾けたことは何度もあった。

社長が一息ついたとき、運転手はルームミラーに目をやり、丁寧に尋ねた。

「社長、アメリカや海外へ行かれるときは、私たちのお金をその国の通貨に両替しなければなりませんよね？」

あまりに簡単な問いに少し首をかしげながら、社長は短く答えた。「**ああ。**」

運転手はしばらく黙り、それから穏やかな声で言った。**「社長、ご存じですか。社長のこの富があれば、楽園に入ることができるんですよ。」**

車内が静まり返った。エンジンの音がいつもより大きく聞こえた。それまで話し続けていた社長が、言葉を失っていた。彼は窓の外の、金色に染まる夕空を見つめた。しばらくして、今度はまったく違う声で尋ねた。**「どうやって？」**

「社長のお金を、報い（サワーブ）に両替なさるんです」と運転手は答えた。

「どうやって？」

「慈善と善い行いに投資なさるんです。」

前の座席からの省察

この物語は短いが、豊かな人も貧しい人もしばしば忘れてしまう一つの真実を秘めている。社長は現世の通貨の両替について何でも知っていた。レートも、最良の窓口も知っていた。行き先にふさわしいお金を持たずに飛行機に乗ることなど決してない。それなのに、人生で**最も確かな旅**、すなわち来世への旅にも**両替**が必要だとは、一度も考えたことがなかったのである。

運転手が社長を豊かさゆえに責めなかったことに注目してほしい。「社長は財産のせいで火獄に行きますよ」とは言わなかった。そうではなく、**「社長のこの富があれば、楽園に入ることができるんですよ」**と言ったのである。これがイスラームの均衡のとれた見方である。富は敵ではない。富は**元手**である。それは楽園への切符にも、火獄へ引きずる重荷にもなりうる。両替するかどうかにかかっているのである。

騙し合い章 64:16

فَٱتَّقُوا۟ ٱللَّهَ مَا ٱسْتَطَعْتُمْ وَٱسْمَعُوا۟ وَأَطِيعُوا۟ وَأَنفِقُوا۟ خَيْرًا لِّأَنفُسِكُمْ ۗ وَمَن يُوقَ شُحَّ نَفْسِهِۦ فَأُو۟لَٰٓئِكَ هُمُ ٱلْمُفْلِحُونَ ﴿١٦﴾

だから心を尽してアッラーを畏れ、聞きそして従い、また（施しのために）使え、あなたがた自身のために善いであろう。また自分の貪欲に用心する者、かれらは繁栄を成就する者である。

日本語訳：三田了一 — quran.com/64:16

アッラーは、「**（施しのために）使え、あなたがた自身のために善いであろう**」と命じておられる。**ハイラン・リ・アンフスィクム**、すなわち**あなたがた自身のために善い**という言葉に注目してほしい。施すとき、私たちは本当は何も失っていない。富を現世の口座から、来世にある**自分自身の口座へ移している**のである。受け取る人は一時の益を得るが、与える人は永遠の益を得る。この節は**シュッフ・ン＝ナフ**

ス、すなわち魂の貪欲な吝嗇への警告で結ばれている。それこそが、この両替を妨げる最大の障害である。

来世の通貨は報いである

現世では、どの国にも自国の通貨があり、どの通貨にも価値がある。来世で受け取られる通貨はただ一つ、**報い**（ハサナート、善行）である。その日にはディーナールもディルハムもない。秤（ミーザーン）にかけられるのは行い、すなわち善と悪である。人が楽園に入るか火獄に入るかを決めるのは、アッラーの慈悲のもとでの、善行の重さなのである。

だから、富を持つすべての人にとっての問いは、「私の財産はどれほどあるか」ではなく、「**私の財産のうち、どれほどが報いに両替されたか**」である。一度も両替しなかった億万長者は、来世に無一文で到着するだろう。わずかな財産しかなくても、できる限りの一円一円を誠実に両替した運転手は、そこで大富豪として到着するかもしれない。

夜章 92:5–7

فَأَمَّا مَنْ أَعْطَىٰ وَٱتَّقَىٰ ۝٥

それで施しをなし、主を畏れる者、

وَصَدَّقَ بِٱلْحُسْنَىٰ ۝٦

また至善を実証する者には、

فَسَنُيَسِّرُهُۥ لِلْيُسْرَىٰ ۝٧

われは（至福への道を）容易にしよう。

日本語訳：三田了一 — quran.com/92:5-7

夜章は、美しい交換を約束している。**施しをなし**（アアター）、**主を畏れ**、**至善を実証する**（アル＝フスナー）者には、アッラーが**ユスラー**、すなわち安楽と至福、

つまり楽園への道を**容易に**される。現世で与えることは、来世で**容易にされる**ことによって報われる。これが、クルアーンが私たちに示す最初の「交換レート」である。

> **省察：** もし今夜、帰りの切符のない「最後の便」に乗るとしたら、私たちの「来世の口座」の残高はいくらだろうか。向こうで通用する通貨を持っているだろうか。それとも、そこでは何の価値もない分厚い財布だけだろうか。

上の手

この物語はまた、人の本当の地位が車のどこに座っているかでは測られないことを教えてくれる。社長は主人として後ろに座り、運転手は雇われる者として前に座る。しかしアッラーの御許では、栄誉は**手**によって測られる。与える手か、握りしめる手か。アッラーの使徒 ﷺ はこう言われた。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1429 番

حَدَّثَنَا أَبُو النُّعْمَانِ، قَالَ حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ زَيْدٍ، عَنْ أَيُّوبَ، عَنْ نَافِعٍ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ سَمِعْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم ح. وَحَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ مَسْلَمَةَ، عَنْ مَالِكٍ، عَنْ نَافِعٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ وَهُوَ عَلَى الْمِنْبَرِ، وَذَكَرَ الصَّدَقَةَ وَالتَّعَفُّفَ وَالْمَسْأَلَةَ « الْيَدُ الْعُلْيَا خَيْرٌ مِنَ الْيَدِ السُّفْلَى، فَالْيَدُ الْعُلْيَا هِيَ الْمُنْفِقَةُ، وَالسُّفْلَى هِيَ السَّائِلَةُ ».

日本語訳：

アブドゥッラー・イブン・ウマル رضى الله عنهما によると、アッラーの使徒 ﷺ は説教壇の上で、施しと、物乞いを慎むことと、物乞いについて語りながら言われた。「**上の手は下の手よりも良い。上の手とは与える手であり、下の手とは乞う手である。**」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・ヌウマーン（ムハンマド・イブン・ファドル） ← ハンマード・イブン・ザイド ← アイユーブ・サフティヤーニー ← イブン・ウマルの解放奴隷ナーフィウ ← イブン・ウマル رضى الله عنهما。第二の伝承経路：ア

ブドゥッラー・イブン・マスラマ ← マーリク・イブン・アナス ← ナーフィウ ← アブドゥッラー・イブン・ウマル رضى الله عنهما ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、ザカートの書（キターブ・ッ＝ザカート）、施しは余裕の中からのみの章、ハディース第 1429 番。

判定： サヒーフ（真正） — ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:1429

上の手とは**与える**手である。このハディースは二つのことを同時に教えている。与える者の栄誉と、物乞いをせずに尊厳を守る者の栄誉である。豊かな社長には「上の手」となる大きな機会がある。そして質素な運転手もまた、お金よりも価値あるものを与えるとき、「上の手」となる。**誠実な助言**である。

2. 驚くべき交換レート

両替をしたことのある人なら、交換レートが毎日変わることを知っている。円が強い日もあれば、弱い日もある。窓口が手数料を取り、買いのレートが売りのレートより低いために、両替で損をすることもある。しかし来世の両替窓口はまったく違う。そのレートは**決して下がらず**、**手数料もなく**、**常に利益を生む**。それも何倍にもなって。アッラーご自身がそのレートを示しておられる。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:261

この節は、クルアーンの中で最もよく知られた「交換レートの掲示板」である。蒔かれた 1 粒が **7 穂**を付け、1 穂に**百粒**が実る。1 が **700** になるのである。そしてアッラーはこう加えられる。「**アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。**」 700 倍は上限ではない。アッラーの御心のままに、さらに増えうるのである。

学者たちは、種のたとえが周到に選ばれていると説明している。種を蒔く農夫は、良い穀物を土の中に「捨てて」いるように見える。農業を知らない人には無駄に思えるかもしれない。しかし農夫は知っている。袋の中にしまっておいた種は一粒のままだが、土に「捨てた」種は何倍にもなって返ってくることを。施しも同じである。目には減るように見えても、実際には**蒔いている**のである。

アッラーの使徒 ﷺ は、ハディース・クドスィーの中で、このレートをさらに詳しく説明された。善を行おうとする**意図**でさえ、すでに報いとして数えられるのである。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 6491 番

حَدَّثَنَا أَبُو مَعْمَرٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْوَارِثِ، حَدَّثَنَا جَعْدٌ أَبُو عُثْمَانَ، حَدَّثَنَا أَبُو رَجَاءٍ الْعُطَارِدِيُّ، عَنِ ابْنِ عَبَّاسٍ ـ رضى الله عنهما ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فِيمَا يَرْوِي عَنْ رَبِّهِ عَزَّ وَجَلَّ قَالَ قَالَ « إِنَّ اللَّهَ كَتَبَ الْحَسَنَاتِ وَالسَّيِّئَاتِ، ثُمَّ بَيَّنَ ذَلِكَ فَمَنْ هَمَّ بِحَسَنَةٍ فَلَمْ يَعْمَلْهَا كَتَبَهَا اللَّهُ لَهُ عِنْدَهُ حَسَنَةً كَامِلَةً، فَإِنْ هُوَ هَمَّ بِهَا فَعَمِلَهَا كَتَبَهَا اللَّهُ لَهُ عِنْدَهُ عَشْرَ حَسَنَاتٍ إِلَى سَبْعمائَةِ ضِعْفٍ إِلَى أَضْعَافٍ كَثِيرَةٍ، وَمَنْ هَمَّ بِسَيِّئَةٍ فَلَمْ يَعْمَلْهَا كَتَبَهَا اللَّهُ لَهُ عِنْدَهُ حَسَنَةً كَامِلَةً، فَإِنْ هُوَ هَمَّ بِهَا فَعَمِلَهَا كَتَبَهَا اللَّهُ لَهُ سَيِّئَةً وَاحِدَةً ».

日本語訳：

イブン・アッバース رضى الله عنهما によると、預言者 ﷺ は、その主（偉大にして尊厳なる御方）から伝えられたこととして言われた。「本当にアッラーは善行と悪行を書き記され、それを明らかにされた。**善行をしようと意図したがそれを行わなかった者には、アッラーは御許に完全な一つの善行として書き記される。意図してそれを行ったなら、アッラーは御許に十の善行から七百倍まで、さらに何倍にも書き記される。** また悪行をしようと意図したがそれを行わなかった者には、アッラーは御許に完全な一つの善行として書き記される。意図してそれを行ったなら、アッラーは**ただ一つの悪行**として書き記される。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・マアマル（アブドゥッラー・イブン・アムル・ミンカリー） ← アブドゥルワーリス・イブン・サイード ← ジャアド・アブー・ウスマーン ← アブー・ラジャーゥ・ウターリディー ← イブン・アッバース رضى الله عنهما ← アッラーの使徒 ﷺ ← その主より（ハディース・クドスィー）。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、心を和らげるものの書（キターブ・ッ＝リカーク）、善行または悪行を意図した者の章、ハディース第 6491 番。

判定： サヒーフ（真正） ― ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:6491

このハディースは、完全な「交換レート表」を明らかにしている。善行を**意図した**が行えなかった場合は、完全な善行**一つ**が記される。その善行を**行った**場合は、**十**

から**七百**倍まで、さらに**何倍にも**記される。現世のどんな金融市場も、このような利回りを提供してはいない。誠実な意図だけで、まだ一円も使わないうちから、来世の通貨は貯まり始めるのである。

雌牛章 2:265

وَمَثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمُ ٱبۡتِغَآءَ مَرۡضَاتِ ٱللَّهِ وَتَثۡبِيتٗا مِّنۡ أَنفُسِهِمۡ كَمَثَلِ جَنَّةِۭ بِرَبۡوَةٍ أَصَابَهَا وَابِلٞ فَـَٔاتَتۡ أُكُلَهَا ضِعۡفَيۡنِ فَإِن لَّمۡ يُصِبۡهَا وَابِلٞ فَطَلّٞۗ وَٱللَّهُ بِمَا تَعۡمَلُونَ بَصِيرٌ ٢٦٥

アッラーの御喜びを求め、また自分の魂を強めるために、その所有するものを施す者たちを譬えてみよう。かれらは丘の上にある果樹園のように、大雨が注げばその収穫は倍加し、また大雨がなくても、少しの湿り（で足りる）。アッラーはあなたがたの行うことを御存知であられる 。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:265

種のたとえのあと、アッラーは第二のたとえを示される。アッラーの御喜びを求めて誠実に施す者の施しは、**丘の上の果樹園**のようである。大雨が注げば収穫は**倍加**し、大雨がなくても少しの湿りで足りる。つまり、誠実な施しは、額の大小にかかわらず**必ず実を結ぶ**のである。このたとえは、第5章の「滑らかな岩」のたとえと対比させることにしよう。

アッラーに貸し付ける

クルアーンは施しを、心を揺さぶる表現で言い表している。**カルド・ハサン**、すなわち**アッラーへのよい貸付**である。想像してみてほしい。何ものも必要とされない、天と地の所有者であるアッラーが、ご自身をしもべたちからの「借り手」として差し出しておられるのである。

雌牛章 2:245

مَّن ذَا ٱلَّذِى يُقۡرِضُ ٱللَّهَ قَرۡضًا حَسَنًا فَيُضَٰعِفَهُۥ لَهُۥٓ أَضۡعَافًا كَثِيرَةً وَٱللَّهُ يَقۡبِضُ وَيَبۡصُۜطُ وَإِلَيۡهِ تُرۡجَعُونَ ٢٤٥

アッラーによい貸付をする者は、誰であるのか。かれはそれを倍加され、また数倍にもなされるではないか。アッラーは、乏しくもまた豊かにも自由自在に与えられる。あなたがたはかれの御許に帰されるのである。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:245

イブン・カスィールは、この節が下されたとき、アブー・ッ＝ダフダーフ رضى الله عنه という教友がアッラーの使徒 ﷺ に「アッラーは私たちから借りたいと望まれるのですか」と尋ね、そうだと答えられると、すぐに数百本のナツメヤシのある果樹園を施したと伝えている。この話はいくつかのタフスィールの書や『アフマドのムスナド』に見られる。ここでは模範として引用するものであり、本書で真正性を確認したハディースとして示すものではない。タフスィール・イブン・カスィール 2:245

鉄章 57:11

مَّن ذَا ٱلَّذِى يُقۡرِضُ ٱللَّهَ قَرۡضًا حَسَنًا فَيُضَٰعِفَهُۥ لَهُۥ وَلَهُۥٓ أَجۡرٌ كَرِيمٌ ١١

アッラーに良い貸を、貸付ける者は誰か。かれはそれを倍にされ、（その外に）気前のよい報奨を授けるであろう。

日本語訳：三田了一 — quran.com/57:11

鉄章でも同じ約束が繰り返され、「**気前のよい報奨**」（アジュルン・カリーム）が加えられている。アッラーへの貸付は、何倍にもなって返されるだけではない。**栄誉**とともに返されるのである。これほど高い利息を払う債務者は現世にはおらず、これほど確かな利回りを保証する銀行もない。

なぜアッラーは「貸付」という言葉を選ばれたのか。学者たちはいくつかの知恵を挙げている。第一に、貸付は**必ず返される**。アッラーが払われることを疑う者はいない。第二に、貸付は、その富が最終的には**与える者のものであり続ける**ことを示している。それはただアッラーの御許に「預けられて」いるのである。第三に、それは失う感覚を取り除く。お金を貸す人は、それを失ったとは感じない。返ってくることを知っているからである。

失敗のない商売

創造者章 35:29–30

إِنَّ ٱلَّذِينَ يَتۡلُونَ كِتَٰبَ ٱللَّهِ وَأَقَامُواْ ٱلصَّلَوٰةَ وَأَنفَقُواْ مِمَّا رَزَقۡنَٰهُمۡ سِرّٗا وَعَلَانِيَةٗ يَرۡجُونَ تِجَٰرَةٗ لَّن تَبُورَ ٢٩

本当にアッラーの啓典を読誦する者、礼拝の務めを守り、われが授けたものから密に、またあらわに施す者は、失敗のない商売を願っているようなもの。

لِيُوَفِّيَهُمۡ أُجُورَهُمۡ وَيَزِيدَهُم مِّن فَضۡلِهِۦٓۚ إِنَّهُۥ غَفُورٞ شَكُورٞ ٣٠

かれは、十分にかれらに報奨を払われ、御恵みを余分に与えられる。本当にかれは、度々赦される御方、（奉仕に）十分感謝される方であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/35:29-30

アッラーは、その啓典を読誦し、礼拝の務めを守り、授けられたものから密かに、またあらわに施す者たちを、「**失敗のない商売を願っている**」（ティジャーラタン・ラン・タブール）者と述べておられる。現世の株式市場では、どの投資にもリスクがある。来世の市場では、誠実な投資は**決して損をしない**。アッラーは「**十分にかれらに報奨を払われ**」るだけでなく、「**御恵みを余分に与えられる**」のである。

戦列章 61:10–11

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ هَلۡ أَدُلُّكُمۡ عَلَىٰ تِجَٰرَةٖ تُنجِيكُم مِّنۡ عَذَابٍ أَلِيمٖ ١٠

あなたがた信仰する者よ、われは痛苦の懲罰から救われる一つの取引を、あなたがたに示そう。

تُؤۡمِنُونَ بِٱللَّهِ وَرَسُولِهِۦ وَتُجَٰهِدُونَ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ بِأَمۡوَٰلِكُمۡ وَأَنفُسِكُمۡۚ ذَٰلِكُمۡ خَيۡرٞ لَّكُمۡ إِن كُنتُمۡ تَعۡلَمُونَ ١١

それはあなたがたがアッラーとその使徒を信じ、あなたがたの財産と生命をもってアッラーの道に奮闘努力することである。もし分るならば、それはあなたがたのために最も善い。

日本語訳：三田了一 — quran.com/61:10-11

戦列章は、はっきりと商売の言葉で語っている。「**われは痛苦の懲罰から救われる一つの取引を、あなたがたに示そう。**」 その元手は、信仰と、**財産**と**生命**をもっての奮闘努力である。その利益は、懲罰からの救いと永遠の楽園である。**財産**が**生命**より先に挙げられていることに注目してほしい。多くの人にとって、財産は生命よりも差し出しやすく、それが犠牲の最初の扉だからである。

悔悟章 9:111

۞إِنَّ ٱللَّهَ ٱشۡتَرَىٰ مِنَ ٱلۡمُؤۡمِنِينَ أَنفُسَهُمۡ وَأَمۡوَٰلَهُم بِأَنَّ لَهُمُ ٱلۡجَنَّةَۚ يُقَٰتِلُونَ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ فَيَقۡتُلُونَ وَيُقۡتَلُونَۖ وَعۡدًا عَلَيۡهِ حَقًّا فِي ٱلتَّوۡرَىٰةِ وَٱلۡإِنجِيلِ وَٱلۡقُرۡءَانِۚ وَمَنۡ أَوۡفَىٰ بِعَهۡدِهِۦ مِنَ ٱللَّهِۚ فَٱسۡتَبۡشِرُواْ بِبَيۡعِكُمُ ٱلَّذِي بَايَعۡتُم بِهِۦۚ وَذَٰلِكَ هُوَ ٱلۡفَوۡزُ ٱلۡعَظِيمُ ١١١

本当にアッラーは、信者たちからその生命と財産を贖われた。かれらのため（の代償）は、楽園である。かれらはアッラーの道のために戦い、殺し、また殺される。それは律法と福音とクルアーンとを通じて、かれが結ばれる真実な約束である。誰がアッラー以上に、約束に忠実であろうか。だからあなたがたが結んだ契約を喜べ。それこそは至上の幸福の成就である。

日本語訳：三田了一 — quran.com/9:111

この節は、最も偉大な「売買契約」である。「**本当にアッラーは、信者たちからその生命と財産を贖われた。かれらのため（の代償）は、楽園である。**」 買い手はアッラー、品物は生命と財産、代価は楽園、そして契約は律法と福音とクルアーンに記されている。アッラーはこの節を、「**だからあなたがたが結んだ契約を喜べ**」という言葉で結ばれている。

科学的知見：与えることと心臓の健康

ウィランズら（2016 年）は、高血圧のある高齢者を対象に、**他人のためにお金を使うこと**と血圧との関係を調べた。第一の研究（米国の MIDUS 研究の参加者 186 人）では、他人のために使ったお金が多いほど、2 年後の血圧が低かった。

第二の研究では、高血圧のある高齢者 73 人に、一定額のお金を 3 週間続けて、自分のためか他人のために使ってもらった。他人のために使った人々は、**収縮期および拡張期の血圧が低く**なった。これは、与えることが「**あなたがた自身のために善い**」（騙し合い章 64:16）という約束と調和している。

限界： どちらの研究も小規模で、米国の高齢者のみを対象としている。第一の研究は観察研究であり、第二の研究は規模が小さい。施しが降圧薬の代わりになるという意味ではない。患者は引き続き医師の助言に従うべきである。

研究文献：

Whillans AV, Dunn EW, Sandstrom GM, Dickerson SS, Madden KM (2016). Is spending money on others good for your heart? Health Psychol 35(6):574–583. https://doi.org/10.1037/hea0000332

現世での両替	来世での両替
レートは毎日変わる	固定レート：十倍から七百倍、さらにそれ以上
窓口が手数料を取る	手数料なし。アッラーが御恵みを加えられる
通貨の価値は下がりうる	報いは目減りしない
お金は盗まれたり失われたりする	アッラーの御許に蓄えたものは決して失われない
利益は一時的にすぎない	失敗のない商売

3. 本当の財産とは先に送ったもの

誰かに「自分の財産と相続人の財産、どちらがより愛しいか」と尋ねれば、ほとんどの人が「もちろん自分の財産だ」と答えるだろう。アッラーの使徒 ﷺ はかつて教友たちに同じ問いを投げかけ、私たちの富の見方をひっくり返す答えを示された。ブハーリーの伝承（第 6442 番）では、アブドゥッラー・イブン・マスウード رضى الله عنه によると、預言者は「あなたがたのうち、自分の財産よりも相続人の財産を愛する者は誰か」と尋ねられた。教友たちが、誰もが自分の財産のほうを愛すると答えると、預言者は言われた。**「本当に彼の財産とは彼が先に送ったものであり、相続人の財産とは彼が後に残したものである。」** 同じ意味が、次のハディースによっても裏づけられている。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2959 番

حَدَّثَنِي سُوَيْدُ بْنُ سَعِيدٍ، حَدَّثَنَا حَفْصُ بْنُ مَيْسَرَةَ، عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي، هُرَيْرَةَ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « يَقُولُ الْعَبْدُ مَالِي مَالِي إِنَّمَا لَهُ مِنْ مَالِهِ ثَلاَثٌ مَا أَكَلَ فَأَفْنَى أَوْ لَبِسَ فَأَبْلَى أَوْ أَعْطَى فَاقْتَنَى وَمَا سِوَى ذَلِكَ فَهُوَ ذَاهِبٌ وَتَارِكُهُ لِلنَّاسِ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。**「しもべは言う。『私の財産、私の財産！』 しかし彼の財産のうち本当に彼のものは三つだけである。食べて消えたもの、着て擦り切れたもの、あるいは与えて（来世のために）蓄えられたものである。それ以外のものは去って行き、彼はそれを他人のために残して行くのである。」**

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：スワイド・イブン・サイード ← ハフス・イブン・マイサラ ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』、禁欲と心を和らげるものの書（キターブ・ッ＝ズフド）、ハディース第 2959 番。

判定： サヒーフ（真正） — 二大真正集（サヒーハイン）の一つ『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2959a

この二つのハディースは、私たちの「口座明細」を並べ替える。アッラーの使徒 ﷺ の物差しによれば、**私たちの財産**とは、施し、ザカート、ワクフ、善行を通して来世へ**先に送った**もの（マー・カッダマ）である。一方、私たちが**後に残す**もの（マー・アッハラ）、つまり家、土地、預金、株は、今日はまだ私たちの名義であっても、実は**相続人の財産**なのである。

銀行に 1 億円を預け、生涯で 100 万円しか施さなかった人を想像してみよう。このハディースによれば、彼の本当の財産はその 100 万円だけである。残りの 9900 万円は、しばらくの間彼に「託された」相続人の財産である。皮肉なことに、多くの人が一生懸命に働いて相続人の財産を築きながら、自分自身の財産を築くことを忘れている。

試練としての富と、本当に自分のものである三つのものについては、『手の中の黄金、魂の試練』、とくに第 5 章を参照してほしい。

明日のために何をしたか

集合章 59:18（省察のために再掲）

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ ٱتَّقُواْ ٱللَّهَ وَلۡتَنظُرۡ نَفۡسٞ مَّا قَدَّمَتۡ لِغَدٖۖ وَٱتَّقُواْ ٱللَّهَۚ إِنَّ ٱللَّهَ خَبِيرُۢ بِمَا تَعۡمَلُونَ ١٨

あなたがた信仰する者よ、アッラーを畏れなさい。明日のために何をしたか、それぞれ考えなさい。そしてアッラーを畏れなさい。本当にアッラーは、あなたがたの行うことに通暁なされる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/59:18

この節には、タクワー（畏れ敬うこと）の命令が、初めと終わりに**二度**含まれており、その間に**明日のために何をしたかを考える**ようにとの教えが置かれている。本当のタクワーとは、アッラーを畏れる気持ちだけではない。それは**計画**である。アッラーを意識する人は、賢い人が老後を計画するように、永遠の未来を計画するのである。

この節の**カッダマト**（先に行ったもの）という語は、先のハディースの**マー・カッダマ**と同じ語根をもつ。クルアーンとスンナは同じ言葉で語っている。**先に送ったものこそ、本当にあなたのものである。**

アッラーの御許でそれを見い出す

衣を纏う者章 73:20

۞إِنَّ رَبَّكَ يَعْلَمُ أَنَّكَ تَقُومُ أَدْنَىٰ مِن ثُلُثَيِ ٱلَّيْلِ وَنِصْفَهُۥ وَثُلُثَهُۥ وَطَآئِفَةٌ مِّنَ
ٱلَّذِينَ مَعَكَ ۚ وَٱللَّهُ يُقَدِّرُ ٱلَّيْلَ وَٱلنَّهَارَ ۚ عَلِمَ أَن لَّن تُحْصُوهُ فَتَابَ عَلَيْكُمْ ۖ
فَٱقْرَءُوا۟ مَا تَيَسَّرَ مِنَ ٱلْقُرْءَانِ ۚ عَلِمَ أَن سَيَكُونُ مِنكُم مَّرْضَىٰ وَءَاخَرُونَ
يَضْرِبُونَ فِى ٱلْأَرْضِ يَبْتَغُونَ مِن فَضْلِ ٱللَّهِ وَءَاخَرُونَ يُقَٰتِلُونَ فِى سَبِيلِ ٱللَّهِ ۖ
فَٱقْرَءُوا۟ مَا تَيَسَّرَ مِنْهُ ۚ وَأَقِيمُوا۟ ٱلصَّلَوٰةَ وَءَاتُوا۟ ٱلزَّكَوٰةَ وَأَقْرِضُوا۟ ٱللَّهَ قَرْضًا
حَسَنًا ۚ وَمَا تُقَدِّمُوا۟ لِأَنفُسِكُم مِّنْ خَيْرٍ تَجِدُوهُ عِندَ ٱللَّهِ هُوَ خَيْرًا وَأَعْظَمَ
أَجْرًا ۚ وَٱسْتَغْفِرُوا۟ ٱللَّهَ ۖ إِنَّ ٱللَّهَ غَفُورٌ رَّحِيمٌ ﴿٢٠﴾

主は、あなたが夜間の殆ど 3 分の 2、また（ある時は）2 分の 1、または 3 分の 1 を、（礼拝に）立つことを知っておられる。またあなたと一諸にいる一団の者も同様である。アッラーは、夜と昼を妥当に計られる。かれはあなたがたがそれを計れないことを知り、あなたがたを慈しまれる。だからあなたがたは、クルアーンを無理にならない程度に読め。かれは、あなたがたの中病める者のあることを知っておられる。また或る者はアッラーの恩恵を求めて、地上を旅し、或る者はアッラーの道のために戦っている（ことを）。だからそれを無理にならない程度に読め。礼拝の務めを守り、定めの喜捨をなし、アッラーに立派な貸付け（信仰のための散財）をしなさい。あなたがたが、自分の魂のために予め行う、どんな善いことも、アッラーの御許でそれを見い出そう。その（善行の）報奨は、最善にして最大である。あなたがたはアッラーの御赦しを請い求めるがいい。本当にアッラーは寛容にして慈悲深くあられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/73:20

この長い節は、衣を纏う者章の最後の節であり、深い安心を与える保証を含んでいる。「**あなたがたが、自分の魂のために予め行う、どんな善いことも、アッラーの御許でそれを見い出そう。その（善行の）報奨は、最善にして最大である。**」失われる善行は一つもない。施した一粒のナツメヤシ、差し出した一杯の水、モスクの

献金箱に入れた百円玉。そのすべてが、より良く、より大きな形で、アッラーの御許で**見い出される**のである。

この節はまた、「**アッラーに立派な貸付けをしなさい**」という命令を、礼拝とザカートと並べている。これは、任意の施しが脇役ではなく、主要な崇拝行為と同じ列に置かれていることを示している。

科学的知見：人を助けることと人生のストレス

ポーリンら（2013 年）は、米国デトロイト地域の成人 846 人を 5 年間追跡した。研究の開始時に、参加者は過去 1 年間に経験したストレスの多い出来事と、友人や家族に具体的な手助け（お金、送迎、家事など）をしたかどうかを報告した。

他人を助けなかった人々では、人生のストレスは死亡リスクの上昇と関連していた。しかし**他人を助けた**人々では、人生のストレスは死亡リスクの上昇と**関連していなかった**。与えることは、ストレスの害に対する「盾」のように働いていたのである。

限界： この研究は観察研究であり、因果関係ではなく関連を示すにとどまる。対象も米国の一地域に限られている。イスラームにおいて、与えることの本当の報いは来世にある。この研究は、現世でも感じられる知恵の一端を示しているにすぎない。

研究文献：

Poulin MJ, Brown SL, Dillard AJ, Smith DM (2013). Giving to others and the association between stress and mortality. Am J Public Health 103(9):1649–1655. https://doi.org/10.2105/AJPH.2012.300876

4. 両替の窓口

国際空港には、たくさんの両替窓口がある。この現世という「空港」にも、アッラーとその使徒は、富を報いに替えるための多くの窓口を開いておられる。小さく手軽な窓口もあれば、大きく長期にわたる窓口もある。本章では、そのおもな窓口のいくつかを訪ねてみよう。

第一の窓口 — 毎日の施し

最も身近で手軽な窓口は**施し**（サダカ）である。24 時間開いていて、最低額もなく、どこででも利用できる。モスクの献金箱、困っている隣人、道ばたの物乞い、お金に困った友人、お腹をすかせた動物。アッラーの使徒 ﷺ は、ナツメヤシ半分の施しでさえ火獄からの盾になりうると教えられた。大切なのは額ではなく、**誠実さ**と**継続**である。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1417 番

حَدَّثَنَا سُلَيْمَانُ بْنُ حَرْبٍ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، قَالَ سَمِعْتُ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ مَعْقِلٍ، قَالَ سَمِعْتُ عَدِيَّ بْنَ حَاتِمٍ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ « اتَّقُوا النَّارَ وَلَوْ بِشِقِّ تَمْرَةٍ ».

日本語訳：

アディー・イブン・ハーティム رضى الله عنه は言った。わたしはアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。「**たとえナツメヤシの実半分（の施し）によってでも、火獄から身を守りなさい。**」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：スライマーン・イブン・ハルブ ← シュウバ・イブン・ハッジャージュ ← アブー・イスハーク・サビーイー ← アブドゥッラー・イブン・マアキル ← アディー・イブン・ハーティム رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、ザカートの書（キターブ・ッ＝ザカート）、ナツメヤシ半分によってでも火獄から身を守れの章、ハディース第 1417 番。

判定： サヒーフ（真正） — ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:1417

ナツメヤシ半分。当時のマディーナの市場で最も小さな値打ちだったかもしれないものが、**火獄からの盾**になりうる。このハディースは、あらゆる言い訳を閉ざす。施しの窓口はどんなに小さな額の通貨も受け付けるのだから、施すには貧しすぎるという人は一人もいない。

雌牛章 2:274

ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُم بِٱلَّيۡلِ وَٱلنَّهَارِ سِرّٗا وَعَلَانِيَةٗ فَلَهُمۡ أَجۡرُهُمۡ عِندَ رَبِّهِمۡ وَلَا خَوۡفٌ عَلَيۡهِمۡ وَلَا هُمۡ يَحۡزَنُونَ ٢٧٤

自分の財を、夜となく昼となく、人日を避けて、またあらわに施す者は、主の御許から報奨が下される。かれらには恐れもなく憂いもない。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:274

この節は、「**夜となく昼となく、人目を避けて、またあらわに**」施す者を称えている。施しの窓口は決して閉まらない。しばしば閉まってしまうのは、私たちの心のほうである。

第二の窓口 — ワクフ（満期のない預金口座）

通常の施しが「一回きり」の両替だとすれば、**ワクフ**（寄進財産）は**継続する**両替である。元本は保たれ、その収益が善い目的のために使われ続け、その報いは寄進者のもとへ流れ続ける。たとえ亡くなった後でさえも。イスラームにおけるワクフの基礎は、ウマル・イブン・ハッターブ رضى الله عنه とハイバルの土地の話であり、ブハーリー（第 2737 番）とムスリム（第 1632 番）が伝えている。ウマルはハイバルに一区画の土地を得た。それは彼がそれまでに持った中で最も価値ある財産であった。彼がそれをどうすべきかアッラーの使徒 ﷺ に尋ねると、預言者は言われた。「**望む**

なら、その元本を留め置き、その収益を施しなさい。」 そこでウマルは、それを売らず、贈与せず、相続させないという条件で寄進した。

同じ精神、すなわち最も愛する財産を与える心は、もう一人の教友アブー・タルハ رضى الله عنه にも見られる。イムラーン家章 3:92 が下されたときのことである。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1461 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، أَخْبَرَنَا مَالِكٌ، عَنْ إِسْحَاقَ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ أَبِي طَلْحَةَ، أَنَّهُ سَمِعَ أَنَسَ بْنَ مَالِكٍ ـ رضى الله عنه ـ يَقُولُ كَانَ أَبُو طَلْحَةَ أَكْثَرَ الأَنْصَارِ بِالْمَدِينَةِ مَالاً مِنْ نَخْلٍ، وَكَانَ أَحَبَّ أَمْوَالِهِ إِلَيْهِ بَيْرُحَاءَ وَكَانَتْ مُسْتَقْبِلَةَ الْمَسْجِدِ، وَكَانَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَدْخُلُهَا وَيَشْرَبُ مِنْ مَاءٍ فِيهَا طَيِّبٍ قَالَ أَنَسٌ فَلَمَّا أُنْزِلَتْ هَذِهِ الآيَةُ {لَنْ تَنَالُوا الْبِرَّ حَتَّى تُنْفِقُوا مِمَّا تُحِبُّونَ} قَامَ أَبُو طَلْحَةَ إِلَى رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَقَالَ يَا رَسُولَ اللَّهِ. إِنَّ اللَّهَ تَبَارَكَ وَتَعَالَى يَقُولُ {لَنْ تَنَالُوا الْبِرَّ حَتَّى تُنْفِقُوا مِمَّا تُحِبُّونَ} وَإِنَّ أَحَبَّ أَمْوَالِي إِلَىَّ بَيْرُحَاءَ، وَإِنَّهَا صَدَقَةٌ لِلَّهِ أَرْجُو بِرَّهَا وَذُخْرَهَا عِنْدَ اللَّهِ، فَضَعْهَا يَا رَسُولَ اللَّهِ حَيْثُ أَرَاكَ اللَّهُ. قَالَ فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم « بَخٍ، ذَلِكَ مَالٌ رَابِحٌ، ذَلِكَ مَالٌ رَابِحٌ، وَقَدْ سَمِعْتُ مَا قُلْتَ وَإِنِّي أَرَى أَنْ تَجْعَلَهَا فِي الأَقْرَبِينَ ». فَقَالَ أَبُو طَلْحَةَ أَفْعَلُ يَا رَسُولَ اللَّهِ. فَقَسَمَهَا أَبُو طَلْحَةَ فِي أَقَارِبِهِ وَبَنِي عَمِّهِ. تَابَعَهُ رَوْحٌ. وَقَالَ يَحْيَى بْنُ يَحْيَى وَإِسْمَاعِيلُ عَنْ مَالِكٍ رَايِحٌ.

日本語訳：

アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه は言った。アブー・タルハはマディーナのアンサールの中でナツメヤシ園を最も多く持つ人であり、彼の財産の中で最も愛したものは、モスクに面したバイルハーゥであった。アッラーの使徒 ﷺ はよくそこに入り、その良い水を飲まれた。アナスは言った。この節――{あなたがたは愛するものから施すまでは、決して善に到達しない}――が下されたとき、アブー・タルハは立ち上がってアッラーの使徒 ﷺ のもとへ行き、言った。「アッラーの使徒よ、祝福された至高のアッラーは{あなたがたは愛するものから施すまでは、決して善に到達しない}と仰せられます。**私の財産で最も愛するものはバイルハーゥです。それをアッラーのための施しとしま**

す。その善と、アッラーのもとでの蓄えを望みます。アッラーの使徒よ、アッラーがあなたに示されるところにそれを置いてください。」 アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「バフ！それは利益をもたらす財産だ、それは利益をもたらす財産だ。あなたの言ったことは聞いた。それを親族に与えるのがよいと思う。」 アブー・タルハは「そういたします、アッラーの使徒よ」と言い、それを親族と従兄弟たちの間で分けた。（ブハーリーは言った。）ラウフも同様に伝えた。ヤフヤー・イブン・ヤフヤーとイスマーイールはマーリクからラーイフ（報奨が続く財産）という語で伝えた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・イブン・ユースフ ← マーリク・イブン・アナス ← イスハーク・イブン・アブドゥッラー・イブン・アビー・タルハ ← アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه。補強の伝承：ラウフ・イブン・ウバーダ、ヤフヤー・イブン・ヤフヤー と イスマーイール・イブン・アビー・ウワイス ← マーリク。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、ザカートの書（キターブ・ッ＝ザカート）、親族へのザカートの章、ハディース第 1461 番。

判定： サヒーフ（真正） — ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:1461

ウマルとアブー・タルハ رضى الله عنهما が与えるために選んだものに注目してほしい。価値のない財産ではなく、**最も価値があり、最も愛しい**ものであった。アッラーの使徒 ﷺ はウマルに、ワクフの簡潔な公式を教えられた。**「その元本を留め置き、その収益を施しなさい。」** 土地は売ることも贈ることも相続させることもできず、その収益は貧者、親族、奴隷、アッラーの道、旅人、客人へと回された。千四百年以上たった今も、ワクフはイスラーム世界の各地で、モスク、学校、病院、井戸の背骨となっている。

ワクフは、アッラーの使徒 ﷺ が**サダカ・ジャーリヤ**（流れ続ける施し）と呼ばれたものの一部である。ムスリムが伝えるハディース（第 1631 番）で、預言者は、人が死ぬとその行いは三つを除いて途絶えると言われた。流れ続ける施し、役に立つ知

識、そして彼のために祈る正しい子どもである。このハディースの全文は、本書の最後の「**支援と寄付**」の項に収めてある。

第三の窓口 — 家族を養うこと

多くの人は、報いは外の人に与えたときにだけ得られると思っている。しかし最も大きな両替窓口の一つは、**私たち自身の家庭**である。アッラーの使徒 ﷺ はサアド・イブン・アビー・ワッカース رضي الله عنه にこう言われた。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 56 番

حَدَّثَنَا الْحَكَمُ بْنُ نَافِعٍ قَالَ أَخْبَرَنَا شُعَيْبٌ عَنْ الزُّهْرِيِّ قَالَ حَدَّثَنِي عَامِرُ بْنُ سَعْدٍ عَنْ سَعْدِ بْنِ أَبِي وَقَّاصٍ أَنَّهُ أَخْبَرَهُ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ قَالَ «إِنَّكَ لَنْ تُنْفِقَ نَفَقَةً تَبْتَغِي بِهَا وَجْهَ اللَّهِ إِلَّا أُجِرْتَ عَلَيْهَا حَتَّى مَا تَجْعَلُ فِي فَمِ امْرَأَتِكَ».

日本語訳：

サアド・イブン・アビー・ワッカース رضي الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「**あなたがアッラーの御顔を求めて費やすものは何であれ、必ずそれによって報われる。あなたが妻の口に入れる（一口）でさえも。**」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・ル＝ヤマーン・ハカム・イブン・ナーフィウ ← シュアイブ・イブン・アビー・ハムザ ← イブン・シハーブ・ズフリー ← アーミル・イブン・サアド ← その父 サアド・イブン・アビー・ワッカース رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、信仰の書（キターブ・ル＝イーマーン）、行いは意図によるの章、ハディース第 56 番。ムスリム（第 1628 番）もより長い話の中で伝えている。

判定： サヒーフ（真正） — ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:56

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1426 番

حَدَّثَنَا عَبْدَانُ، أَخْبَرَنَا عَبْدُ اللَّهِ، عَنْ يُونُسَ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ أَخْبَرَنِي سَعِيدُ بْنُ الْمُسَيَّبِ، أَنَّهُ سَمِعَ أَبَا هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ « خَيْرُ الصَّدَقَةِ مَا كَانَ عَنْ ظَهْرِ غِنًى، وَابْدَأْ بِمَنْ تَعُولُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、預言者 ﷺ は言われた。「**最良の施しとは、余裕の中から与えるものである。そして、あなたが扶養する者から始めなさい。**」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブダーン ← アブドゥッラー・イブン・ムバーラク ← ユーヌス・イブン・ヤズィード ← ズフリー ← サイード・イブン・ムサイイブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、ザカートの書（キターブ・ッ＝ザカート）、施しは余裕の中からのみの章、ハディース第 1426 番。

判定： サヒーフ（真正） — ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:1426

このハディースは優先順位の指針を示している。最良の施しは、自分と家族をないがしろにせず、**余裕の中から**与えるものであり、そして**扶養する者から始めなさい**。イスラームは、家族が物乞いをするまで全財産を施すよう求めてはいない。家族こそが最初の窓口なのである。

妻の口に運ぶ一口。毎日、気づかずにしていることが、**アッラーの御顔を求めて**行われるなら、報いとなりうる。子どもの学費、食費、電気代、家族の衣服に使う一円一円は、ただ一つのもの、すなわち**意図**によって、来世の通貨に両替することができる。これが最も身近で、最も忘れられがちな窓口である。

第四の窓口 — 孤児を養うこと

最も特別な窓口の一つが、**孤児を養うこと**である。その報いは善行だけではない。楽園でアッラーの使徒 ﷺ に**最も近い場所**なのである。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 5304 番

حَدَّثَنَا عَمْرُو بْنُ زُرَارَةَ، أَخْبَرَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ بْنُ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ سَهْلٍ، قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم « أَنَا وَكَافِلُ الْيَتِيمِ فِي الْجَنَّةِ هَكَذَا ». وَأَشَارَ بِالسَّبَّابَةِ وَالْوُسْطَى، وَفَرَّجَ بَيْنَهُمَا شَيْئًا.

日本語訳：

サフル・イブン・サアド رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「**わたしと孤児を養育する者とは、楽園でこのようになる。**」そして人差し指と中指で示し、その間を少し開かれた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アムル・イブン・ズラーラ ← アブドゥルアズィーズ・イブン・アビー・ハーズィム ← その父 アブー・ハーズィム（サラマ・イブン・ディーナール） ← サフル・イブン・サアド・サーイディー رضى الله عنه ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、離婚の書（キターブ・ッ＝タラーク）、リアーンの章、ハディース第 5304 番。

判定： サヒーフ（真正） ― ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:5304

ほとんど寄り添う二本の指。楽園で孤児の養育者がアッラーの使徒 ﷺ にどれほど近いかを示している。孤児を養うことは、必ずしも子どもを家に引き取ることを意味しない。学費や毎月の生活費を負担したり、信頼できる孤児院を支えたりすることでもできる。

人間章 76:8–9

وَيُطْعِمُونَ ٱلطَّعَامَ عَلَىٰ حُبِّهِۦ مِسْكِينًا وَيَتِيمًا وَأَسِيرًا ﴿٨﴾

またかれらは、かれを敬愛するために、貧者と孤児と捕虜に食物を与える。

إِنَّمَا نُطْعِمُكُمْ لِوَجْهِ ٱللَّهِ لَا نُرِيدُ مِنكُمْ جَزَآءً وَلَا شُكُورًا ﴿٩﴾

（そして言う。）「わたしたちは、アッラーの御喜びを願って、あなたがたを養い、あなたがたに報酬も感謝も求めません。

日本語訳：三田了一 — quran.com/76:8-9

この節は、貧者と孤児と捕虜に食物を与えながら、心の中でこう言う正しい人々を描いている。**「わたしたちは、アッラーの御喜びを願って、あなたがたを養い、あなたがたに報酬も感謝も求めません。」** これが、どの窓口にも共通する第一の条件、**誠実さ**である。

第五の窓口 — アッラーの家を建てること

本章の次の窓口は、地上のアッラーの家である**モスクを建てる**ことである。気前の良さで知られたウスマーン・イブン・アッファーン رضى الله عنه は、預言者のモスクをより堅固な材料で建て直したことで批判されたことがあった。彼は、預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いたと答えた。**「アッラーの御顔を求めてモスクを建てる者には、アッラーが楽園にそれと同じものを建てられる。」**（『サヒーフ・ブハーリー』第 450 番、『サヒーフ・ムスリム』第 533 番）

この窓口での両替は驚くべきものである。**現世のモスクが楽園の家に替えられる**のである。誰もが一人でモスクを建てられるわけではないが、誰もがその一部を担うことはできる。煉瓦一つ、柱一本、礼拝用の敷物一枚を、アッラーのための誠実な意図とともに。

第六の窓口 — 知識とクルアーン

富は**知識**を通しても報いに替えることができる。貧しい学生の学びを支えること、クルアーンを印刷して寄進すること、地域のクルアーン教室を支援すること、礼拝所の図書室に本を寄贈すること。これらはすべて報いが流れ続ける「役に立つ知識」に含まれる。誰かが私たちの寄進したクルアーンを読むたび、私たちが支えた知識を実践するたびに、その報いは私たちのためにも記されるのである。

第七の窓口 — 人の苦境を和らげること

しばしば忘れられる最後の窓口は、**人の苦境を和らげる**ことである。困っている人の借金の返済を待つこと、返せない借金を帳消しにすること、隣人の入院費を払うこと、倒産寸前の小さな商店を助けること。アッラーは、債務者が窮境にあるならめどがつくまで待ち、帳消しにして喜捨することはさらに善いと言われる（雌牛章2:280）。現世で「失った」お金は、実は来世で最も安定した通貨に両替されているのである。

両替の窓口	今日できる実践の例
毎日の施し	モスクの献金箱、困っている隣人、誰かの食事代を払う
ワクフ	現金ワクフ、クルアーンの寄進、井戸の寄進
意図をもって家族を養う	食費、子どもの学費、妻の衣服
孤児を養う	学費や生活費の負担、孤児院の支援
モスクや礼拝所を建てる	建設、維持、設備への寄付

©2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

5. 来世の偽札

現世のどの両替窓口にも、**偽札**を見分ける機械がある。偽札は本物そっくりに見える。色も大きさも、絵柄さえ同じである。しかし詳しく調べると、退けられてしまう。来世も同じである。人の目には大きく見える施しであっても、来世の窓口で調べられると、条件を満たしていないために**退けられる**ものがある。

第一の偽札 — 恩着せと傷つけること

雌牛章 2:264

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ لَا تُبۡطِلُواْ صَدَقَٰتِكُم بِٱلۡمَنِّ وَٱلۡأَذَىٰ كَٱلَّذِي يُنفِقُ مَالَهُۥ رِئَآءَ ٱلنَّاسِ وَلَا يُؤۡمِنُ بِٱللَّهِ وَٱلۡيَوۡمِ ٱلۡأٓخِرِۖ فَمَثَلُهُۥ كَمَثَلِ صَفۡوَانٍ عَلَيۡهِ تُرَابٞ فَأَصَابَهُۥ وَابِلٞ فَتَرَكَهُۥ صَلۡدٗاۖ لَّا يَقۡدِرُونَ عَلَىٰ شَيۡءٖ مِّمَّا كَسَبُواْۗ وَٱللَّهُ لَا يَهۡدِي ٱلۡقَوۡمَ ٱلۡكَٰفِرِينَ ٢٦٤

信仰する者よ、あなたがたは人びとに見せびらかすため、持物を施す者のように、負担侮辱を感じさせて、自分の施しを無益にしてはならない。またアッラーも、最後の（審判の）日も信じない者のように。かれらを譬えてみればちょうど、土を被った滑らかな岩のようなもので、大雨が降れば裸になってしまう。かれらはその働いて得たものから、何の得るところもないであろう。アッラーは不信心の者たちを御導きになられない。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:264

アッラーは、施しの報いを**無益にする**二つのことを警告しておられる。**マン**、すなわち与えたことを恩着せがましく言うことと、**アザー**、すなわち受け取った人を傷つけることである。そしてアッラーは鮮やかなたとえを示される。見せびらかす者の施しは、**土を被った滑らかな岩**のようである。肥えて見えるが、大雨が降れば土は流され、むき出しの硬い岩だけが残る。見せびらかしや恩着せ、心ない言葉で汚された施しは、何も残さずに流されてしまう。

雌牛章 2:262

ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ ثُمَّ لَا يُتۡبِعُونَ مَآ أَنفَقُواْ مَنّٗا وَلَآ أَذٗى لَّهُمۡ أَجۡرُهُمۡ عِندَ رَبِّهِمۡ وَلَا خَوۡفٌ عَلَيۡهِمۡ وَلَا هُمۡ يَحۡزَنُونَ ٢٦٢

アッラーの道のために、自分の財産を施し、その後かれらの施した相手に負担侮辱のを起こさせず、また損わない者、これらの者に対する報奨は、主の御許にある。かれらには、恐れもなく憂いもないであろう。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:262

それとは反対に、施したあと「**施した相手に負担侮辱の念を起こさせず、また損わない者**」には、主の御許に報奨があり、恐れも憂いもないと約束されている。条件ははっきりしている。与え、そして**忘れる**ことである。

第二の偽札 — 不正な財産

第二の偽札は、**不正な**（ハラームの）手段で得た財産である。賄賂、利子（リバー）、詐欺、盗みで得たものからの施しは、どれほど額が大きくても来世の窓口では受け付けられない。アッラーの使徒 ﷺ はこう言われた。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 1015 番

وَحَدَّثَنِي أَبُو كُرَيْبٍ، مُحَمَّدُ بْنُ الْعَلاَءِ حَدَّثَنَا أَبُو أُسَامَةَ، حَدَّثَنَا فُضَيْلُ بْنُ مَرْزُوقٍ، حَدَّثَنِي عَدِيُّ بْنُ ثَابِتٍ، عَنْ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم « أَيُّهَا النَّاسُ إِنَّ اللَّهَ طَيِّبٌ لاَ يَقْبَلُ إِلاَّ طَيِّبًا وَإِنَّ اللَّهَ أَمَرَ الْمُؤْمِنِينَ بِمَا أَمَرَ بِهِ الْمُرْسَلِينَ فَقَالَ { يَا أَيُّهَا الرُّسُلُ كُلُوا مِنَ الطَّيِّبَاتِ وَاعْمَلُوا صَالِحًا إِنِّي بِمَا تَعْمَلُونَ عَلِيمٌ } وَقَالَ { يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا كُلُوا مِنْ طَيِّبَاتِ مَا رَزَقْنَاكُمْ } ». ثُمَّ ذَكَرَ الرَّجُلَ يُطِيلُ السَّفَرَ أَشْعَثَ أَغْبَرَ يَمُدُّ يَدَيْهِ إِلَى السَّمَاءِ يَا رَبِّ يَا رَبِّ وَمَطْعَمُهُ حَرَامٌ وَمَشْرَبُهُ حَرَامٌ وَمَلْبَسُهُ حَرَامٌ وَغُذِيَ بِالْحَرَامِ فَأَنَّى يُسْتَجَابُ لِذَلِكَ.

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「**人々よ、本当にアッラーは善き御方であり、善いもの以外は受け入れられない。アッラーは使徒たちに命じられたことを信仰者たちにも命じられた。アッラーは仰せられた。{使徒たちよ、善いものから食べ、善行を行え。本当にわれはあなたがたの行うことを知り尽くしている} また仰せられた。{信仰する者たちよ、われがあなたがたに与えた善いものから食べよ}。**」 それから彼は、長い旅をして髪は乱れ埃にまみれ、天に両手を上げて「主よ、主よ」と呼ぶ男のことを語られた。しかし彼の食べ物は禁じられたもの、飲み物も禁じられたもの、衣服も禁じられたものであり、禁じられたもので養われてきた。どうして彼の祈りが聞き届けられようか。

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：アブー・クライブ・ムハンマド・イブン・アラーゥ ← アブー・ウサーマ（ハンマード・イブン・ウサーマ） ← フダイル・イブン・マルズーク ← アディー・イブン・サービト ← アブー・ハーズィム・アシュジャイー ← アブー・フライラ رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』、ザカートの書（キターブ・ッ＝ザカート）、善い稼ぎからの施しが受け入れられることの章、ハディース第 1015 番。

判定： サヒーフ（真正） ― 二大真正集（サヒーハイン）の一つ『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:1015

「**アッラーは善い御方であり、善いもの以外は受け入れられない。**」 来世の窓口は**本物の**通貨しか受け付けない。不正に財産を築き、そのあとでモスクを建てたり施しをしたりして罪を「洗おう」とする人は、偽札を両替しようとしているのである。正しい道は、悔い改め、権利をその持ち主に返し、合法なものから施すことである。

第三の偽札 ― 見せびらかし（称賛されるために与えること）

最も微妙で最も恐ろしい偽札は、**リヤー**、すなわち人に称賛されるために与えることである。アッラーの使徒 ﷺ は、復活の日に最初に裁かれる者の中に、とても気前の良い一人の富豪がいると述べられた。ムスリムが伝えるハディース（第 1905 番）で、アブー・フライラ رضى الله عنه によると、預言者は最初に裁かれる三人を挙げられ

た。殉教した者、知識を学んで教え、クルアーンを読誦した者、そして**アッラーが糧を広げ、あらゆる種類の財産を与えられた者**である。

その富豪が、授かった恵みで何をしたかと問われると、彼はこう答える。「**あなたが財産を費やされることを好まれる道で、あなたのために費やさなかった道は一つもありません。**」 アッラーは言われる。「**あなたは嘘をついた。あなたはそれを、『彼は気前が良い』と言われるために行ったのだ。そして、そう言われたではないか。**」 そして彼は顔を引きずられて火獄に投げ込まれる。ほかの二人も同じ運命をたどる。彼らもまた称賛されるために行ったからである。一人は勇敢だと言われるために、もう一人は学者で読誦者だと言われるために。

このハディースは震え上がらせるものである。三人とも、**人の目には最善の**行いをしていた。殉教、知識を教えクルアーンを読誦すること、そしてあらゆる善の道で施すこと。それなのに、意図がアッラーのためではなかったので、すべて退けられた。富豪は現世ですでに「支払い」を受け取っていた。「**そして、そう言われたではないか。**」 彼は気前が良いと言われたかった。そして人々はそう言った。来世のために残ったものは何もなかったのである。

イマーム・ナワウィーは、このハディースが見せびらかしの危険と誠実さの義務についての最も明確な証拠の一つであると述べている。それは、見せびらかしを恐れて施しをやめよという意味ではない。そうではなく、与える前にも、与えている間にも、与えた後にも、**意図を正す**のである。

密かな施し

見せびらかしの反対として、アッラーの使徒 ﷺ は施しを隠す者を称え、復活の日にアッラーの陰で覆われる七人の中に数えられた。

> **ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 660 番**

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، قَالَ حَدَّثَنَا يَحْيَى، عَنْ عُبَيْدِ اللَّهِ، قَالَ حَدَّثَنِي خُبَيْبُ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ حَفْصِ بْنِ عَاصِمٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ «سَبْعَةٌ يُظِلُّهُمُ اللَّهُ فِي ظِلِّهِ يَوْمَ لاَ ظِلَّ إِلاَّ ظِلُّهُ الإِمَامُ الْعَادِلُ، وَشَابٌّ نَشَأَ فِي عِبَادَةِ رَبِّهِ، وَرَجُلٌ قَلْبُهُ مُعَلَّقٌ فِي الْمَسَاجِدِ، وَرَجُلاَنِ تَحَابَّا فِي اللَّهِ اجْتَمَعَا عَلَيْهِ وَتَفَرَّقَا عَلَيْهِ، وَرَجُلٌ طَلَبَتْهُ امْرَأَةٌ ذَاتُ مَنْصِبٍ وَجَمَالٍ فَقَالَ إِنِّي أَخَافُ اللَّهَ. وَرَجُلٌ تَصَدَّقَ أَخْفَى حَتَّى لاَ تَعْلَمَ شِمَالُهُ مَا تُنْفِقُ يَمِينُهُ، وَرَجُلٌ ذَكَرَ اللَّهَ خَالِيًا فَفَاضَتْ عَيْنَاهُ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、預言者 ﷺ は言われた。「アッラーの陰のほかに陰のない日に、アッラーが御自身の陰で覆われる七人がいる。公正な指導者。主への崇拝の中で育った若者。心がモスクに結びついている男。アッラーのために愛し合い、そのために集い、そのために別れる二人の男。地位と美貌のある女に誘われて『わたしはアッラーを畏れる』と言う男。右手が施したものを左手が知らないほど密かに施す男。**そして一人でアッラーを念じて涙を流す男である。**」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・イブン・バッシャール ← ヤフヤー・イブン・サイード・カッターン ← ウバイドゥッラー・イブン・ウマル ← フバイブ・イブン・アブドゥッラフマーン ← ハフス・イブン・アースィム ← アブー・フライラ رضى الله عنه ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、礼拝の呼びかけの書（キターブ・ル＝アザーン）、モスクに座って礼拝を待つ者とモスクの徳の章、ハディース第660番。

判定： サヒーフ（真正） — ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:660

「右手が施したものを左手が知らないほど密かに」。その施しがどれほど隠されているかを描いている。他人が知らないだけでなく、本人でさえ数えていないかのようである。これこそ最も本物の通貨である。アッラーのほかに証人はなく、アッラーのほかに称賛もない。

夜章 92:17–21

وَسَيُجَنَّبُهَا ٱلْأَتْقَى ﴿١٧﴾

だが（主のために）忠誠の限りを尽した者は、それから救われ、

ٱلَّذِى يُؤْتِى مَالَهُۥ يَتَزَكَّىٰ ﴿١٨﴾

その富を施し、自分を清める。

وَمَا لِأَحَدٍ عِندَهُۥ مِن نِّعْمَةٍ تُجْزَىٰٓ ﴿١٩﴾

また誰からも、慈悲の報酬を求めない。

إِلَّا ٱبْتِغَآءَ وَجْهِ رَبِّهِ ٱلْأَعْلَىٰ ﴿٢٠﴾

一生懸命に至高者、主の御顔を請うだけである。

وَلَسَوْفَ يَرْضَىٰ ﴿٢١﴾

やがて、かれは（十分に）満足出来るであろう。

日本語訳：三田了一 — quran.com/92:17-21

夜章は、最も主を畏れる者を、「**その富を施し、自分を清める**」者、しかも「**誰からも、慈悲の報酬を求めない**」者として描いている。彼は恩を返すためでも、恩を売るためでもなく、「**一生懸命に至高者、主の御顔を請うだけ**」に与える。そしてアッラーは優しい約束で結ばれる。「**やがて、かれは（十分に）満足出来るであろう。**」

雌牛章 2:267

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُوٓاْ أَنفِقُواْ مِن طَيِّبَٰتِ مَا كَسَبْتُمْ وَمِمَّآ أَخْرَجْنَا لَكُم مِّنَ ٱلْأَرْضِ ۖ وَلَا تَيَمَّمُواْ ٱلْخَبِيثَ مِنْهُ تُنفِقُونَ وَلَسْتُم بِـَٔاخِذِيهِ إِلَّآ أَن تُغْمِضُواْ فِيهِ ۚ وَٱعْلَمُوٓاْ أَنَّ ٱللَّهَ غَنِىٌّ حَمِيدٌ ﴿٢٦٧﴾

信仰する者よ。あなたがたの働いて得たよいものと、われが、大地からあなたがたのために生産したものを借しまず施せ。悪いものを図って、施してはならない。目をつむらずには、あなた（自身）さえ取れないようなものを。アッラーは満ち足りておられる方、讃美されるべき方で あられることを知りなさい。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:267

この節は、偽札へのもう一つの扉を閉ざしている。自分なら目をつむらなければ受け取らないような**悪いもの**を選んで施すことである。破れた服、傷みかけた食べ物、壊れた品物。どれも誇れる施しではない。**タイイバート・マー・カサブトゥム**、すなわち自分の働いて得たよいものから与えなさい。

心の中の偽札検出機

自分の施しの中の偽札を、どうすれば見分けられるだろうか。いくつかの問いが役に立つ。

1. 誰も知らなくても、私は与えるだろうか。 答えが「いいえ」なら、意図を正す必要がある。クルアーンは密かな施しを称えている（雌牛章 2:271）。ただし、手本となるためのあらわな施しもまた善い。

2. 感謝や見返りを期待していないか。 人間章の正しい人々は「あなたがたに報酬も感謝も求めません」と言った。

3. 自分の施しを恩着せがましく言ったことはないか。 あれば悔い改め、二度と繰り返さないこと。

4. 私の財産の出どころは合法か。 疑わしさ（シュブハ）があるなら、施す前にまず清めること。

偽札	本物の通貨
恩着せを伴う施し	与えて、そして忘れる
受け取る人を傷つける施し	優しい顔と良い言葉で与える
不正な手段で得た財産	合法な稼ぎからの財産
人に称賛されるために与える	アッラーの御顔を求めて与える
悪いものを選んで与える	良いもの、愛しいものから与える

6. 空港が閉まる前に替えよ

どの旅人も、両替窓口に**営業時間**があることを知っている。夜に閉まる窓口もあれば、空港が閉まると閉まる窓口もある。両替を先延ばしにし続ける旅人は、着いたときには窓口の明かりが消えていることに気づくかもしれない。来世の両替窓口にも閉まる時がある。その時とは**死**である。

偽信者たち章 63:10–11

وَأَنفِقُواْ مِن مَّا رَزَقۡنَٰكُم مِّن قَبۡلِ أَن يَأۡتِيَ أَحَدَكُمُ ٱلۡمَوۡتُ فَيَقُولَ رَبِّ لَوۡلَآ أَخَّرۡتَنِيٓ إِلَىٰٓ أَجَلٖ قَرِيبٖ فَأَصَّدَّقَ وَأَكُن مِّنَ ٱلصَّٰلِحِينَ ١٠

死があなたがたを襲う前に、われが与えたものから施しなさい。かれは、「主よ、何故あなたは暫くの間の猶予を与えられないのですか。そうすればわたしは喜捨〔サダカ〕をして、善い行いの者になりますのに。」と言う。

وَلَن يُؤَخِّرَ ٱللَّهُ نَفۡسًا إِذَا جَآءَ أَجَلُهَاۚ وَٱللَّهُ خَبِيرُۢ بِمَا تَعۡمَلُونَ ١١

定められた時がやって来た時、アッラーは誰にも猶予を与えられない。アッラーは、あなたがたの行うことに通暁なされる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/63:10-11

この節は、胸を締めつける場面を描いている。死が訪れた人が、こう懇願する。**「主よ、何故あなたは暫くの間の猶予を与えられないのですか。そうすればわたしは喜捨〔サダカ〕をして……」** 彼が何を求めているかに注目してほしい。財産を築く時間でも、旅をする時間でもなく、**施す**時間、つまり後に残そうとしている財産を**両替する**時間である。しかし次の節は、その扉をきっぱりと閉ざす。**「定められた時がやって来た時、アッラーは誰にも猶予を与えられない。」** その時、空港はすでに閉まっているのである。

イブン・カスィールは、怠っていた者は誰もが死の訪れたときに後悔し、善行をするために、わずかでも時間を延ばしてほしいと願うと述べている。しかしその願いは聞き入れられない。タフスィール・イブン・カスィール 63:10

まだ財産を惜しむうちに与える

アッラーの使徒 ﷺ は、どの施しの報いが最も大きいかと尋ねられた。その答えは、両替の**時期**がその**価値**を左右することを示している。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1419 番

حَدَّثَنَا مُوسَى بْنُ إِسْمَاعِيلَ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْوَاحِدِ، حَدَّثَنَا عُمَارَةُ بْنُ الْقَعْقَاعِ، حَدَّثَنَا أَبُو زُرْعَةَ، حَدَّثَنَا أَبُو هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ جَاءَ رَجُلٌ إِلَى النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فَقَالَ يَا رَسُولَ اللَّهِ أَىُّ الصَّدَقَةِ أَعْظَمُ أَجْرًا قَالَ « أَنْ تَصَدَّقَ وَأَنْتَ صَحِيحٌ شَحِيحٌ، تَخْشَى الْفَقْرَ وَتَأْمُلُ الْغِنَى، وَلاَ تُمْهِلُ حَتَّى إِذَا بَلَغَتِ الْحُلْقُومَ قُلْتَ لِفُلاَنٍ كَذَا، وَلِفُلاَنٍ كَذَا، وَقَدْ كَانَ لِفُلاَنٍ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。ある男が預言者 ﷺ のもとに来て尋ねた。「アッラーの使徒よ、最も報奨の大きい施しはどれですか。」 彼は言われた。**「健康で財産に執着し、貧しさを恐れ、豊かさを望んでいるときに施すことである。** 魂が喉元に達してから『誰それにこれだけ、誰それにこれだけ』と言うまで先延ばしにしてはならない。そのときにはもう、それは誰それ（相続人）のものになっているのだから。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムーサー・イブン・イスマーイール ← アブドゥルワーヒド・イブン・ズィヤード ← ウマーラ・イブン・カアカーウ ← アブー・ズルア・イブン・アムル ← アブー・フライラ رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、ザカートの書（キターブ・ッ＝ザカート）、健康で財産に執着している者の施しの徳の章、ハディース第 1419 番。

判定： サヒーフ（真正） — ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:1419

最も高い交換レートは、私たちが**健康で、財産を惜しみ、貧しさを恐れ、まだ豊かになることを望んでいる**ときである。それは最も与えにくい時であり、だからこそ最も価値がある。魂が喉もとに達したときには、財産はすでに相続人のものである。その時に与えても、もはや犠牲を示すことにはならない。

冒頭の物語の社長は、まだ健康で、まだ豊かで、まだ間に合う。本書の読者の多くも同じである。機会は今ここにある。今日、今週、今月。退職を待ってはならない。「十分になったら」を待ってはならない。病気を待ってはならない。来世の空港は、閉まる前に予告をしてはくれない。

遺言 — 許された最後の両替

死後も財産の一部が報いに替えられ続けるようにしたい人のために、イスラームは善い目的のための**遺言**（ワスィーヤ）を認めている。ただし、限度がある。サアド・イブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه は、病のとき、全財産を遺贈しようとしたことがあった。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2742 番

حَدَّثَنَا أَبُو نُعَيْمٍ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، عَنْ سَعْدِ بْنِ إِبْرَاهِيمَ، عَنْ عَامِرِ بْنِ سَعْدٍ، عَنْ سَعْدِ بْنِ أَبِي وَقَّاصٍ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ جَاءَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَعُودُنِي وَأَنَا بِمَكَّةَ، وَهْوَ يَكْرَهُ أَنْ يَمُوتَ بِالأَرْضِ الَّتِي هَاجَرَ مِنْهَا قَالَ « يَرْحَمُ اللَّهُ ابْنَ عَفْرَاءَ ». قُلْتُ يَا رَسُولَ اللَّهِ، أُوصِي بِمَالِي كُلِّهِ قَالَ « لاَ ». قُلْتُ فَالشَّطْرُ قَالَ « لاَ ». قُلْتُ الثُّلُثُ. قَالَ « فَالثُّلُثُ، وَالثُّلُثُ كَثِيرٌ، إِنَّكَ أَنْ تَدَعَ وَرَثَتَكَ أَغْنِيَاءَ خَيْرٌ مِنْ أَنْ تَدَعَهُمْ عَالَةً يَتَكَفَّفُونَ النَّاسَ فِي أَيْدِيهِمْ، وَإِنَّكَ مَهْمَا أَنْفَقْتَ مِنْ نَفَقَةٍ فَإِنَّهَا صَدَقَةٌ، حَتَّى اللُّقْمَةُ الَّتِي تَرْفَعُهَا إِلَى فِي امْرَأَتِكَ، وَعَسَى اللَّهُ أَنْ يَرْفَعَكَ فَيَنْتَفِعَ بِكَ نَاسٌ وَيُضَرَّ بِكَ آخَرُونَ ». وَلَمْ يَكُنْ لَهُ يَوْمَئِذٍ إِلاَّ ابْنَةٌ.

日本語訳：

サアド・イブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه は言った。（わたしが病んでいたとき）預言者 ﷺ がマッカにわたしを見舞いに来られた。預言者は、人が移住して離れた土地で死ぬことを好まれなかった。預言者は「アッラーがイブン・アフラーゥに慈悲をかけられますように」と言われた。わたしは言った。「アッラーの使徒よ、わたしの財産をすべて遺贈してもよいでしょうか。」預言者は「いいえ」と言われた。「では半分は。」「いいえ。」「では三分の一は。」預言者は言われた。「三分の一、三分の一でも多い。あなたが相続人を裕福なまま残すことは、人々に手を差し出して物乞いする貧しい者として残すよりも良い。**あなたが費やすものは何であれ施しである。妻の口に運ぶ一口でさえも。** アッラーはあなたの命を延ばされ、ある人々はあなたによって益を受け、他の人々は害を受けるかもしれない。」当時、彼には娘が一人いるだけであった。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・ヌアイム（ファドル・イブン・ドゥカイン）← スフヤーン・サウリー ← サアド・イブン・イブラーヒーム ← アーミル・イブン・サアド ← サアド・イブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』、遺言の書（キターブ・ル＝ワサーヤー）、相続人を裕福なまま残すことは人々に頼らせるより良いの章、ハディース第 2742 番。

判定： サヒーフ（真正） — ハディース学者の一致により、クルアーンに次いで最も真正な書とされる『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:2742

このハディースは美しい均衡を教えている。善い目的のための遺言は**三分の一**まで認められる。「**三分の一でも多い**」。残りは相続法（ファラーイド）にしたがって相続人の権利となる。アッラーの使徒 ﷺ はまた、相続人を**裕福なまま**残すことは、物乞いをさせて残すよりも良いと強調された。そして家族へのあらゆる出費は、妻の口に運ぶ一口でさえ、報いとなる。来世の通貨は、家族をないがしろにすることを求めない。求めているのは**計画**である。

しかし、遺言を施しを先延ばしにする言い訳にしてはならない。健康なうちの施しは、私たちがいなくなってから実行される遺言よりも報いが大きい（『サヒーフ・

ブハーリー』1419）。遺言は「最後の窓口」であって、毎日開いている窓口の代わりではない。

なぜ私たちは先延ばしにするのか

学者たちは、人がこの両替を先延ばしにする理由をいくつか挙げている。第一に、**長い望み**（トゥール・ル＝アマル）。まだ時間はたっぷりあると思い込むこと。第二に、**貧しさへの恐れ**。悪魔は、与えようとする者を貧困で脅す（雌牛章 2:268）。第三に、**現世への愛**。財産に縛られた心は、それを手放しにくい。第四に、**報いへの確信の欠如**。もし 1 が 700 になると本当に確信していたなら、私たちは先を争って両替するだろう。

> **省察：** もしある銀行が、リスクなしで 700 倍の利回りを約束し、しかもその申し出がいつ終わるか分からないと告げられたら、私たちは待つだろうか。来世の窓口は、アッラーご自身の保証のもとで、それ以上のものを差し出している。

もう一つの面、すなわち、すでに得た報いが人への不正によって**失われる**ことについては、『マフシャルの野で消えた持ち株』で詳しく論じている。富を報いに替えることは、私たちの務めの半分にすぎない。残りの半分は、その報いが人の手へと移らないよう**守る**ことである。

よくある質問

1. 私は豊かではありません。本書は私のためのものですか。 はい。来世の窓口はナツメヤシ半分でも受け付け（『サヒーフ・ブハーリー』1417）、誠実な意図でさえ一つの善行として記されます（『サヒーフ・ブハーリー』6491）。冒頭の物語の運転手は豊かではありませんでしたが、善への道を示したことで、最も大きな報いを得たかもしれません。

2. あらわに施すことは見せびらかしになりますか。 必ずしもそうではありません。クルアーンは、施しをあらわにするのは良く、隠すのはさらに良いと述べています（雌牛章 2:271）。意図がアッラーのためであれば、あらわな施しは手本となり、他の人を励ますこともできます。退けられるのは、称賛されることを**目的**とした施しです。

3. すでに施しを恩着せがましく言ってしまったら？ アッラーに悔い改め、相手を傷つけたなら謝り、二度と繰り返さないことです。悔悟の扉は常に開いています。そして、より清らかな意図で施し続けてください。

4. ザカートを払えば十分ですか。 ザカートは最低限の義務であり、財産を清める「税」です。任意の施しとワクフは、限りのない「追加の投資」です。ザカートだけを払う人は義務を果たしたことになりますが、施しもする人は来世の蓄えを増やしているのです。

5. 糧が増えることを願って施してもよいですか。 学者たちは、アッラーからの埋め合わせを望むことは誠実さと矛盾しないと説明しています。アッラーご自身がそれを約束しておられるからです（サバア章 34:39）。ただし、最も大切な意図はアッラーの御喜びを求めることであり、現世の見返りはおまけにすぎません。

6. 過去に不正な手段で得た財産はどうすればよいですか。 悔い改め、持ち主が分かるなら権利を返してください。たどれない場合は、自分の報いのための施しとして

ではなく、それを手放す意図で公共の福祉のために出すべきだと学者たちは述べています。個別の事例はムフティーや学者に相談してください。

7. ワクフは豊かな人だけのものですか。 いいえ。今では多くの機関が、少額から、ときには数百円からでも**現金ワクフ**を受け付けています。その機関が正式で信頼できるものかを確かめてください。

8. 定期的に施したことがない場合、どう始めればよいですか。 小さく、そして継続的に始めることです。毎日または毎週、無理のない額を決め、窓口を一つ選び（たとえばモスクの献金箱や孤児）、それを習慣にしましょう。アッラーに最も愛される行いは、わずかでも続けられるものです。

結び — 毎日の来世への投資

あの高級車に戻ろう。もし社長が、運転手の助言を本当に受け入れたとしたら。もしかしたら彼は、土地の一部をワクフにし始めたかもしれない。何人かの孤児の学費を負担したかもしれない。運転手の町のモスクの建設に寄付したかもしれない。そして何より美しいことに、運転手自身も、**善への道を示した**ことで報いを得たかもしれない。アッラーの使徒 ﷺ は、善に導く者は、それを行う者と同じ報いを得ると言われたのである。

運転手は豊かではなかった。しかし一つの誠実な問いによって、彼は人生で最も実りある「両替」をしたのかもしれない。これは、来世の通貨が豊かな人だけのものではないことを思い起こさせる。**良い助言**、**教えた知識**、**笑顔**、**労力**、そして**時間**。そのすべてを報いに替えることができるのである。

まとめの表 — 来世の通貨

原則	教訓
来世の通貨は報いである（第 1 章）	出発の前に現世の富を両替しなければならない
交換レートは 1 対 700、さらにそれ以上（第 2 章）	施しは捨てるのではなく、蒔く種である
あなたの財産とは先に送ったもの（第 3 章）	後に残すものは相続人の財産
多くの両替窓口（第 4 章）	施し、ワクフ、家族、孤児、モスク
偽札は退けられる（第 5 章）	誠実で、合法で、恩着せも見せびらかしもなく
窓口は死とともに閉まる（第 6 章）	健康で、まだ財産を惜しむうちに替えよ

毎日の「来世への投資」チェックリスト

☐ **朝の意図：** 今日家族のために使う一円一円は、アッラーのためだと意図しただろうか。

☐ **毎日の施し：** 今日、わずかでも施しただろうか。小銭、一食分の弁当、一杯の水。

☐ **合法な出どころ：** 今日の収入と取引は、利子、賄賂、ごまかしから清らかだろうか。

☐ **誠実さ：** 称賛を望まず、知る必要のない人に告げずに与えただろうか。

☐ **恩着せなし：** 昨日の施しを、誰にも言わずに忘れただろうか。

☐ **残り続ける持ち株：** 報いが流れ続けるワクフや流れ続ける施しを、少なくとも一つ持っているだろうか。

☐ **孤児とモスク：** 最後に孤児やアッラーの家に寄付したのはいつだろうか。

☐ **道を示す：** この物語の運転手のように、誰かを来世への投資に誘っただろうか。

アッラーが私たちを、窓口が閉まる前に、最後の便が飛び立つ前に、過ぎ去る現世の富を永遠の報いに替える賢い者としてくださいますように。最後に祈りをささげよう。

「アッラーよ、あなたが私たちに授けられた富を、あなたのもとへ向かう道の糧としてください。あなたから私たちを遠ざける重荷としないでください。私たちの施しを、わずかであっても受け入れ、私たちの意図を見せびらかしから清め、一粒の種を七百にされるように、その報いを何倍にもしてください。私たちを、先に送ったものをあなたの御許で最善の報いとして見い出す者としてください。アーミーン、諸世界の主よ。」

参考文献

『聖クルアーン』アラビア語本文：ウスマーン版（ハフス伝承）。日本語訳：三田了一訳『日亜対訳 聖クルアーン』。quran.com

イブン・カスィール『タフスィール・クルアーン・アズィーム』。tafsir.app/ibn-katheer

ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』。sunnah.com/bukhari

ムスリム・イブン・ハッジャージュ『サヒーフ・ムスリム』。sunnah.com/muslim

ナワウィー『ミンハージュ（サヒーフ・ムスリム注釈）』および『リヤード・アッ＝サーリヒーン』。sunnah.com/riyadussalihin

Hj Che Alim Hj Che Haron『手の中の黄金、魂の試練 — クルアーンとハディースにおける恵みと試練としての富』。quranscience.my

Hj Che Alim Hj Che Haron『マフシャルの野で消えた持ち株 — 人の手へと移りゆく善行の物語』。quranscience.my

Whillans AV, Dunn EW, Sandstrom GM, Dickerson SS, Madden KM (2016). Is spending money on others good for your heart? Health Psychol 35(6):574–583. https://doi.org/10.1037/hea0000332

Poulin MJ, Brown SL, Dillard AJ, Smith DM (2013). Giving to others and the association between stress and mortality. Am J Public Health 103(9):1649–1655. https://doi.org/10.2105/AJPH.2012.300876

支援と寄付

この電子書籍は、ムスリムのために**完全に無料で**発行されており、**決して販売されるものではありません。**研究、ウェブサイト quranscience.my の運営、今後の電子書籍の出版の費用のためのご寄付を心より歓迎いたします。ただし寄付は**義務ではありません。**アッラーがすべてのご寄付を、絶えることのない施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。「本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒ﷺは言われた。「施しは財産を減らさない。アッラーは、赦す僕に尊厳しか増し加えられない。そして、アッラーのためにへりくだる者は誰であれ、アッラーがその位を高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ、クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه .

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・礼儀の書（キターブ・ル＝ビッル・ワ・ッ＝スィラ・ワ・ル＝アダブ）、赦しと謙虚さの奨励の章、ハディース第 2588 番。

判定： サヒーフ ― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒ﷺは言われた。「人が死ぬと、その行いは途絶える。ただし三つを除いて。絶えることのない施し、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

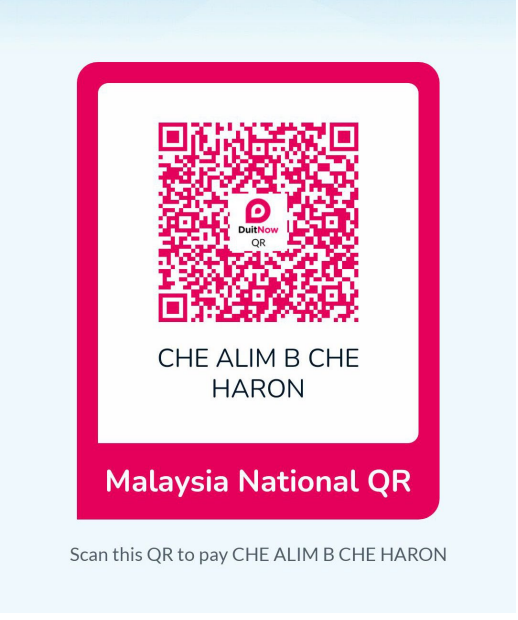
伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ、クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه .

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書（キターブ・ル＝ワスィーヤ）、死後に人に届く報いの章、ハディース第 1631 番。

判定： サヒーフ ― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:1631

JAZAKUMULLAHU KHAIRAN KATHIRA



上の QR コード（DuitNow、マレーシア）を読み取ってご寄付ください。



海外からのご寄付：DONATE ボタンをクリックするか、次をご覧ください
paypal.me/quranscience